



平成 22 年 10 月 28 日

各 位

会社名 明治海運株式会社
 代表者名 代表取締役社長 内田 和也
 (コード番号 9115 東証・大証 第1部)
 問合せ先 執行役員経理グループ長 水野 敏郎
 電話番号 (03) 3792-0811

業績予想の修正及び営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 14 日に公表した業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。また、平成 23 年 3 月期第 2 四半期個別業績において、営業外費用（為替差損）が発生しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期 連結業績予想数値の修正

(1) 第 2 四半期連結累計期間(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,900	百万円 670	百万円 △320	百万円 20	円 銭 0.60
今回修正予想 (B)	10,570	497	△464	△46	△1.40
増減額 (B-A)	△330	△173	△144	△66	—
増減率 (%)	△3.0%	△25.8%	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	10,401	819	△555	283	8.56

(2) 通期(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 23,000	百万円 2,000	百万円 80	百万円 150	円 銭 4.53
今回修正予想 (B)	21,500	1,000	△1,500	△400	△12.09
増減額 (B-A)	△1,500	△1,000	△1,580	△550	—
増減率 (%)	△6.5%	△50.0%	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	21,216	1,791	△191	383	11.57

(3) 修正の理由

第 2 四半期連結累計期間における業績は、為替レートが急激に円高に推移したことから、前回発表予想に比べ売上高の減少が見込まれ、営業利益、経常利益ならびに四半期純利益ともに、予想を下回る見込みです。また通期連結業績も、現状の為替状況に鑑み、下期の為替レートを 1US\$ =80 円と想定し、予想の見直しを行いました。その結果、前回発表予想に比べ、売上高、営業利益および経常利益とも大幅に減少し、当期純損失 4 億円となる見込みです。

2. 平成 23 年 3 月期 個別業績予想数値の修正

(1) 第 2 四半期累計期間(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,360	百万円 160	百万円 160	百万円 100	円 銭 2.78
今回修正予想 (B)	6,169	142	7	18	0.50
増減額 (B-A)	△191	△18	△153	△82	△2.28
増減率 (%)	△3.0%	△11.3%	△95.6%	△82.0%	△82.0%

(2) 通期(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,700	百万円 330	百万円 360	百万円 210	円 銭 5.84
今回修正予想 (B)	10,700	270	120	80	2.22
増減額 (B-A)	△2,000	△60	△240	△130	△3.62
増減率 (%)	△15.7%	△18.2%	△66.7%	△61.9%	△62.0%
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	13,222	381	363	239	12.7

(3) 修正の理由

第 2 四半期累計期間における業績は、連結業績予想と同様、為替レートの円高影響を受け、売上高および営業利益の減少、ならびに保有外貨建債権に期末評価損が発生するため、経常利益、四半期純利益とも下方修正します。また通期個別業績も、現状の円高水準から、前回発表予想に比べ、売上高、営業利益および経常利益とも減少する見込みです。

なお、海外傭船者との緊密なコンタクトによる船舶営業の拡大を目的として平成 20 年 12 月にオランダに設立した連結子会社 (MK CENTENNIAL MARITIME B.V.) が、当下半期から実質活動することに伴い、一部傭船契約を同社に移管します。その結果、売上高の減少が発生する予定ですが、本件は、連結会社間内の取引変更であり、連結業績には全く影響はありません。

3. 営業外費用の計上及びその内容

当社は、平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日) の個別損益計算書において、外国為替相場の変動による外貨建債権等の評価換えにより、営業外費用に為替差損を 141 百万円計上します。

なお、上記の金額は平成 23 年 3 月期第 2 四半期末時点での為替評価換えによる為替差損であり、通期の為替差損の額は、平成 23 年 3 月期末の為替相場により変動します。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。

以 上